様式第１４号

設計図書等に関する質問及び回答

令和５年５月 11 日

山田町長　佐藤　信逸

次の工事の設計図書等に関する質問について、回答します。

工事名　橋梁補修（まさしの橋）工事

番号	質問内容	回　　答
①	設計書単６号の型枠（第２径間）について、吊り金具取付は「現場」でよいか。	「現場」で積算しております。
②	設計書単８号のコンクリートアンカーについて、構造物種別補正は「橋梁用床版」「差し筋及び杭頭処理」のどちらを見ればよいか。	「一般構造物」で積算しております。
③	設計書単 14 号の床版補修用足場について、現場環境条件による補正は図面上どちらとも捉えられるが、一般用地内でよいか。	当方の使用歩掛において、ご質問のような区分はありません。 なお、中段足場については「一般用地内」で積算しております。
④	鉄筋探査（極小規模）の規格が「横向き、下向き」となっているが、公表歩掛にはその合体歩掛がない。見積もり価格と捉えてよいか。	通常の「極小規模」で積算しております。 設計書に記載の方向は、実施時の向きについて参考までに記載したものとなります。
⑤	設計書単 53 号アンカー鉄筋の２行目の「アンカー」は設置費用か。	設置手間となっております。
⑥	設計書単 35 号の低圧注入工法について、設計書では規格が延べ延長 25mだが、図面では 19.9mとなっている。25m以上と 25m未満では歩掛が異なるが、これは設計書どおり 25mで考えてよいか。	上部工補修工詳細図（その１）～（その３）に記載の延長の合計が 25m以上となっております。
⑦	設計書単 36 号の左官工法について、設計書では規格が延べ体積 0.6m3 だが、図面では 0.035m3 となっている。これは設計書どおりで考えてよいか。	上部工補修工詳細図（その１）～（その３）に記載の体積の合計が 0.6m3 以上となっております。
⑧	任意仮設の支持梁工について、現在見られている仮設の内容を大幅に見直し、設計任意仮設費より大幅増額になった場合はどうなるか。	諸条件を考慮した仮設計画であることから原則大幅な見直しは行いません。ただし、大きく掛け離れた計画であることが認められた場合にはこの限りではありません。